

KANAYAMA ZINE CLUB

2025 Edition

かなやまじんぐらぶ

―まちを巡って手づくり壁新聞を作ろう―



KANAYAMA ZINE CLUB

2025 Edition

かなやまじんくろぶ

ーまちを巡って手づくり壁新聞を作ろうー



KANAYAMA ZINE CLUB

2025 Edition

かなやまじんくろぶ

―まちを巡って手づくり壁新聞を作ろう―

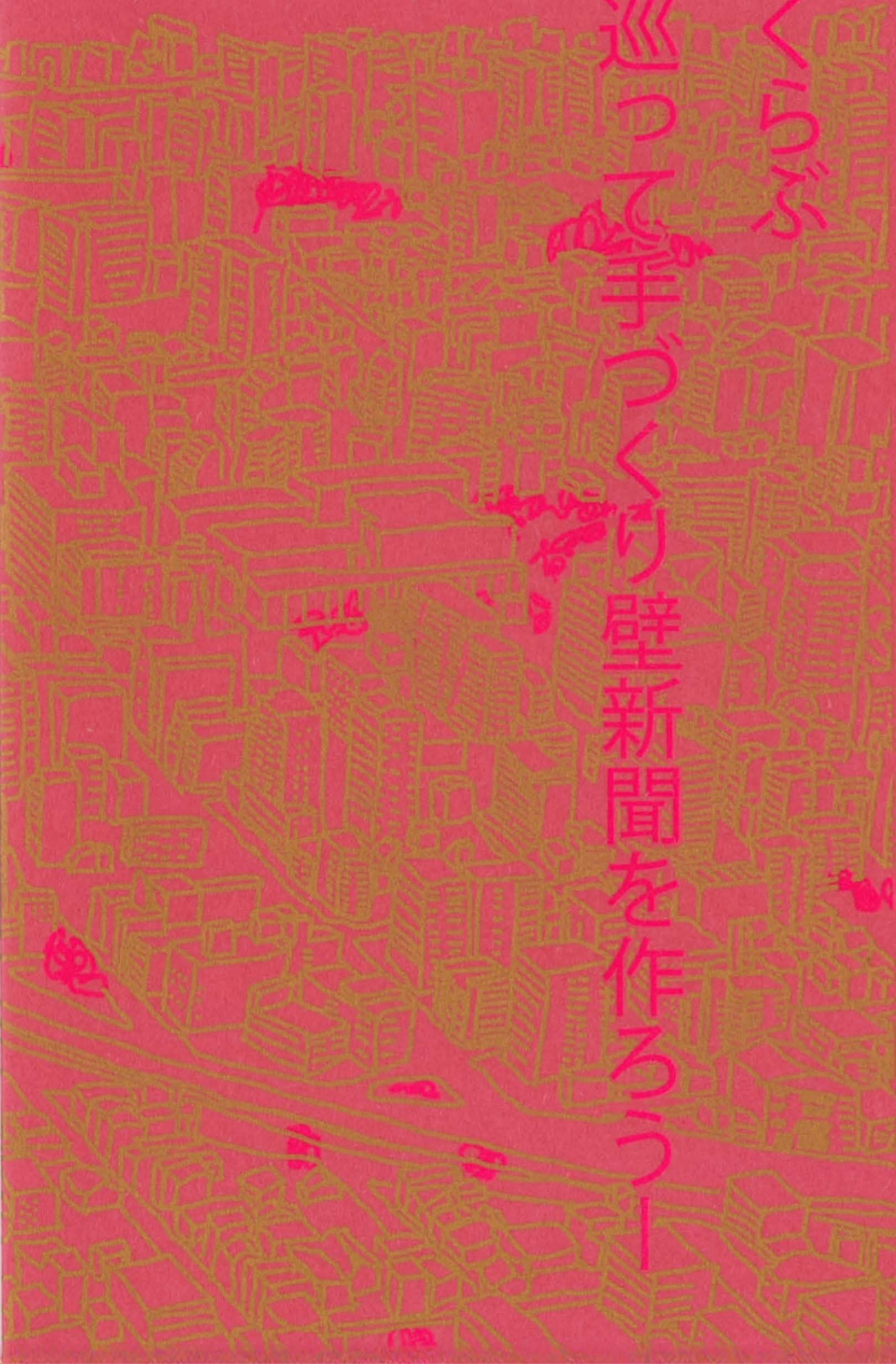


KANAYAMA ZINE CLUB

2025 Edition

かなやまじんくらぶ

―まちを巡って手づくり壁新聞を作ろう―



「かなやまじんくらぶ」とは？

金山をテーマに ZINE を制作する参加型アートプロジェクトとして 2024 年にスタートしました。2025 年は一般参加者合計 17 名が金山エリアにある複数の店舗に取材を行い、そのお店を紹介する壁新聞を制作しました。この ZINE は、それら 4 つの新聞を収録したものです。

KANAYAMA ZINE CLUB

2025 Edition

かなやまじんくらぶ

― まちを巡って手づくり壁新聞を作る ―

目次

榊森白山社

NIGIWA TIMES

濃尾商会

ミスター・ケニーズ-ひとと音楽が交わる場所

参加メンバー (* = 表紙チーム)

青木遥楓 *

Sara Imakubo *

尾関和裕

金森あかね *(金山イラスト)

笹木ゆうか

Yuka TAKASU *(デザインディレクション)

巽周太

早川美香 *(店舗イラスト)

保母彩陽

MAIKO *

的場に利 *

マドラス *(全体デザイン)

毛利奈由

渡部将之

スペシャルサックス

金山にぎわいマルシェの皆さま

榊森白山社の皆さま

濃尾商会の皆さま

Mr.Kenny's の皆さま

CHI&ME さま

whenpress さま

ZINE 配架にご協力いただいた皆さま

発行 かなやまじんくらぶ

(クリエイティブ・リンク・ナゴヤ)

発行日 2025 年 9 月 20 日

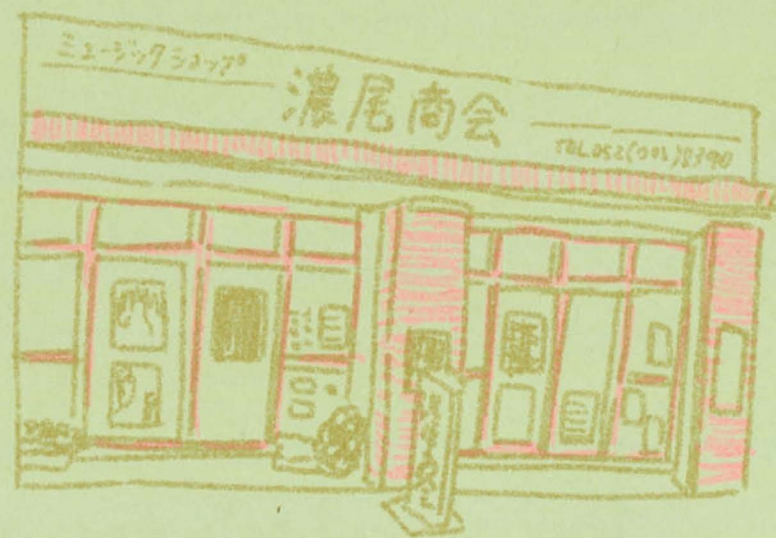
問合せ (メール) pilot@creative-link-nagoya.jp

Sakakimori Hakusansha



金山1丁目 8番23号

Nōbi - Shōkai

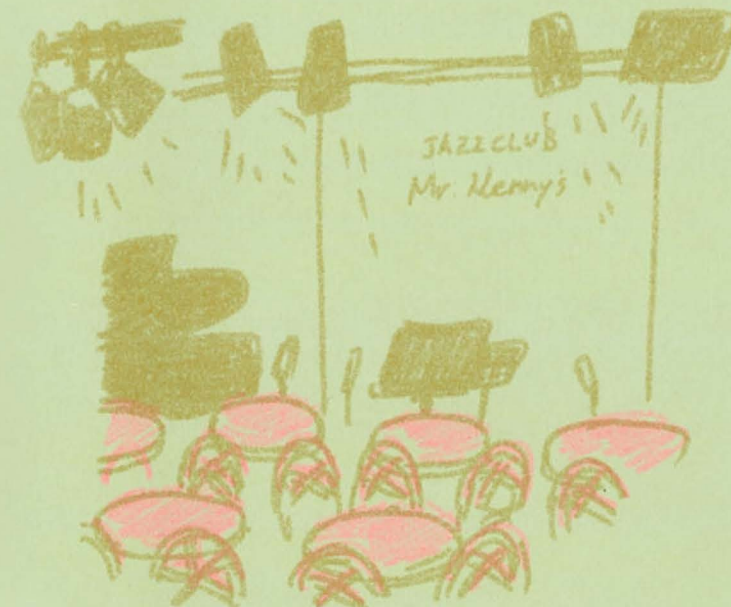


金山町1丁目4-1

Kanayama



JAZZ CLUB Mr. Kenny's



金山5丁目1-5

Nigiwai marche



金山総合駅南口
毎月第4週週末

KANAYAMA ZINE CLUB

2025 Edition

かなやまじんくらぶ

まちを巡って手づくり壁新聞を作る

「かなやまじんくらぶ」とは？

金山をテーマに ZINE を制作する参加型アートプロジェクトとして 2024 年にスタートしました。2025 年は一般参加者合計 17 名が金山エリアにある複数の店舗に取材を行い、そのお店を紹介する壁新聞を制作しました。この ZINE は、それら 4 つの新聞を収録したものです。

目次

榊森白山社
NIGIWAI TIMES
濃尾商会
ミスター・ケニーズ-ひとと音楽が交わる場所

参加メンバー (* = 表紙チーム)

青木遙楓 *
Sara Imakubo *
尾関和裕
金森あかね * (金山イラスト)
伊木ゆうか *
Yuka TAKASU * (デザインディレクション)
巽周太
早川美香 * (店舗イラスト)
保母彩陽
MAIKO *
的場に利 *
マドラス * (全体デザイン)
毛利奈由
渡部将之

スペシャルサンプス

金山にぎわいマルシェの皆さま
榊森白山社の皆さま
濃尾商会の皆さま
Mr.Kenny's の皆さま

CHI&ME さま
whenpress さま
ZINE 配架にご協力いただいた皆さま

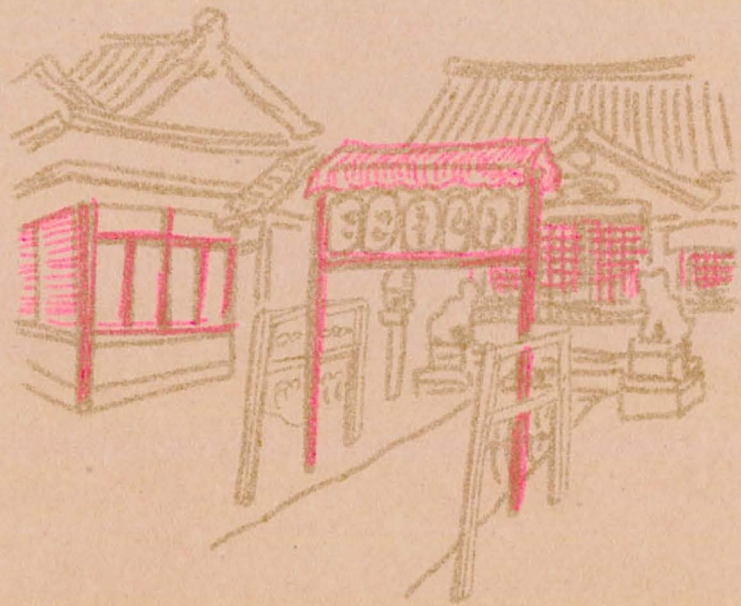
発行 かなやまじんくらぶ

(クリエイティブ・リンク・ナゴヤ)

発行日 2025 年 9 月 20 日

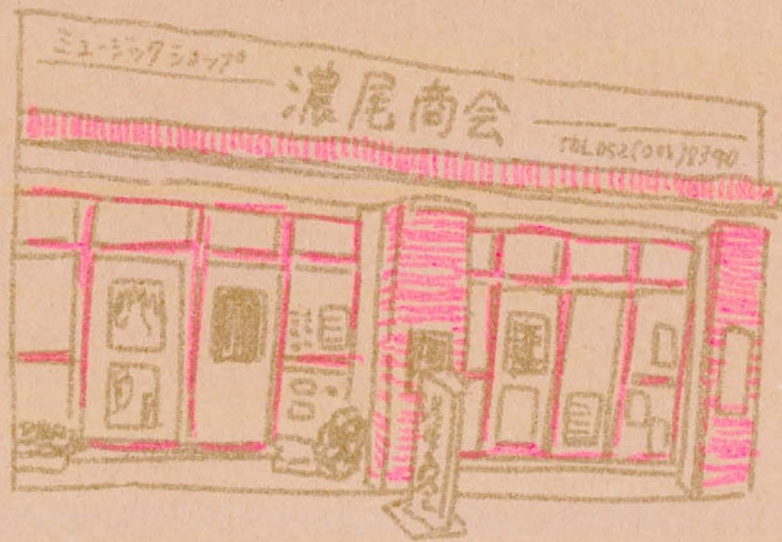
問合せ (メール) pilot@creative-link-nagoya.jp

Sakakimori
Hakusansha



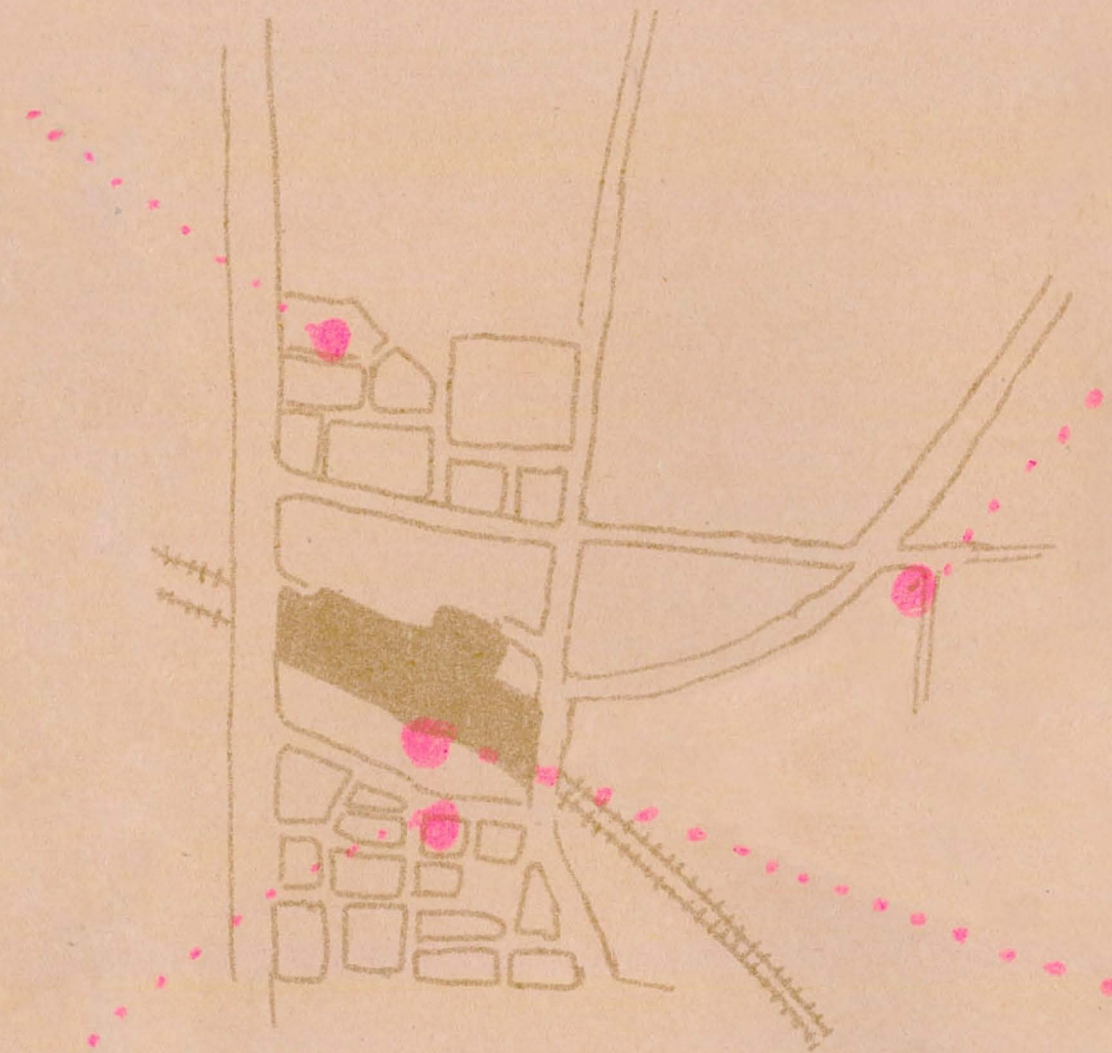
金山1丁目 8番23号

Nōbi - Shōkai

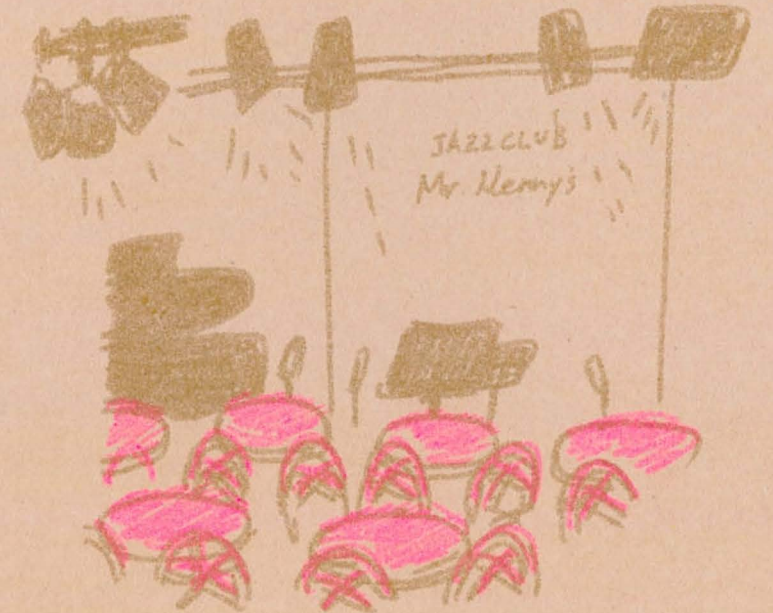


金山町1丁目4-1

Kanayama



JAZZ CLUB
Mr. Kenny's



金山5丁目1-5

Nigiwai marche



金山総合駅南口
毎月第4週週末

KANAYAMA ZINE CLUB

2025 Edition

かなやまじんくらぶ

まちを巡って手づくり壁新聞を作るうい

「かなやまじんくらぶ」とは？

金山をテーマに ZINE を制作する参加型アートプロジェクトとして 2024 年にスタートしました。2025 年は一般参加者合計 17 名が金山エリアにある複数の店舗に取材を行い、そのお店を紹介する壁新聞を制作しました。この ZINE は、それら 4 つの新聞を収録したものです。

目次

紳森白山社

NIGIWAI TIMES

濃尾商会

ミスター・ケニース - ひとと音楽が交わる場所

参加メンバー (* = 表紙チーム)

青木遥楓 *

Sara Imakubo *

尾関和裕

金森あかね *(金山イラスト)

榎木ゆうか

Yuka TAKASU *(デザインディレクション)

巽周太

早川美香 *(店舗イラスト)

保母彩陽

MAIKO *

的場仁利 *

マドラス *(全体デザイン)

毛利奈由

渡部将之

スペシャルサンクス

金山にぎわいマルシェの皆さま

紳森白山社の皆さま

濃尾商会の皆さま

Mr.Kenny's の皆さま

CHI&ME さま

whenpress さま

ZINE 配架にご協力いただいた皆さま

発行 かなやまじんくらぶ

(クリエイティブ・リンク・ナゴヤ)

発行日 2025 年 9 月 20 日

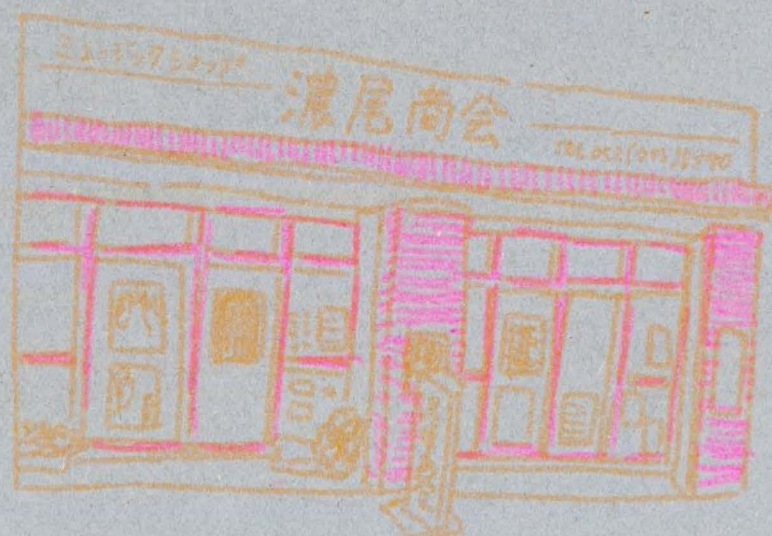
問合せ (メール) pilot@creative-link-nagoya.jp

Sakakimori
Hakusansha



金山1丁目 8番23号

Nōbi - Shōkai

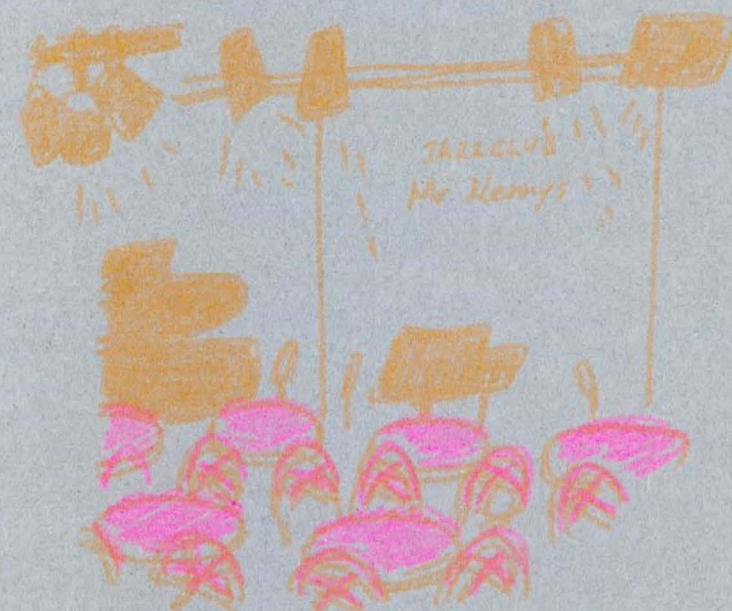


金山町1丁目4-1

Kanayama



JAZZ CLUB
Mr. Kenny's



金山5丁目1-5

Nigiwai marche



金山総合駅南口
毎月第4週週末

KANAYAMA ZINE CLUB

2025 Edition

かなやまじんくらぶ

―まちを巡って手づくり壁新聞を作ろう―

「かなやまじんくらぶ」とは？

金山をテーマにZINEを制作する参加型アートプロジェクトとして2024年にスタートしました。2025年は一般参加者合計17名が金山エリアにある複数の店舗に取材を行い、そのお店を紹介する壁新聞を制作しました。このZINEは、それら4つの新聞を収録したものです。

目次

榊森白山社

NIGIWAI TIMES

濃尾商会

ミスター・ケニーズ-ひとと音楽が交わる場所

参加メンバー(*=表紙チーム)

青木遥楓 *

Sara Imakubo *

尾関和裕

金森あかね *(金山イラスト)

笹木ゆうか

Yuka TAKASU *(デザインディレクション)

巽 周太

早川美香 *(店舗イラスト)

保母彩陽

MAIKO *

的場仁利 *

マドラス *(全体デザイン)

毛利奈由

渡部将之

スペシャルサンクス

金山にぎわいマルシェの皆さま

榊森白山社の皆さま

濃尾商会の皆さま

Mr.Kenny'sの皆さま

CHI&ME さま

whenpress さま

ZINE 配架にご協力いただいた皆さま

発行 かなやまじんくらぶ

(クリエイティブ・リンク・ナゴヤ)

発行日 2025年9月20日

問合せ(メール) pilot@creative-link-nagoya.jp

神森白山社

1月

・元旦祭
・左義長

2月

・祈念祭

4月

・松尾祭、
稲荷祭

6月

・大祓式

7月

・天王祭、
華能宮祭

10月

・例祭

11月

・新嘗祭

12月

・秋葉祭
・除夜祭

歴史について

神森白山社は、平安時代（仁和二年（八八六年）六月三〇日に創建されました。加賀国の白山比咩神社から、吾（あ）湯市邑（ゆちむら）（現在の名古屋市熱田区）の住人であった福岡

お祭りしている
神様（本殿の祭神）

・菊理媛命（ククリ
ヒメノミコト）
・伊弉諾尊（イザナギノ
ミコト）

・大己貴命（オオナ
ムチノミコト）

國猶が勧請（かんじょう）し、この地にお祀りしたのが始まりです。

本殿建設中・・・

きれいな音がする!!
手作りの
風鈴の願掛け!!

元々神社の木
だった椅子!!

公文について

「公文の看板が掲げられていましたね。公文はすいぶん昔からね、ありますね。場所がないからここを使わせて貰いたいという話になっていると思います。家賃ももらっていますね。火曜日と金曜日にやっています。子供達がやって来て。公文は、十年はあると思います。」

「公文の看板が掲げられていましたね。公文はすいぶん昔からね、ありますね。場所がないからここを使わせて貰いたいという話になっていると思います。家賃ももらっていますね。火曜日と金曜日にやっています。子供達がやって来て。公文は、十年はあると思います。」

神社に賽銭泥棒が?!
以前末社の賽銭が盗まれるという事件があり、前田さんの活躍で犯人逮捕に至ることができた。

「負けず嫌いだからね、絶対捕まえるから!」

かなやまじんくらぶ
毛利奈由 笹木ゆうか
保母彩陽 青木運龍

私財を投じたことについて

「私財を投入されたことについて、教えてください。」
パンフレットから御朱印帳まで全部作りました。朝のみんなのコーヒー代も出しています。お金が云々じゃなくて、それより大切にしたい、コミュニティがありますよね。価値よりよっぽど大事なものがあつた。風鈴も全部自分で買っている。それを奉納したりしていますね。
また、誰かがやることで、自分もやらなきゃいけないと思わせることが大事ですね。しょうがないからやるか、というところから、綺麗になっていくところを見て人はノッてきます。

地域とのコミュニティ

「神社と地元の方とのコミュニティを深めるイベントは何かありますか?」

祭事は年間通して行っています。イベントというと昔で言う祭事だね。祭事はイベントだし、でも今の方って祭事をイベントだと思わないですよ。なにもなければ人は減ってくばかり。そこで、マルシェをやるうとなりました。そして、マルシェの方と協力して、交代で社務所の番を

してもらったことになりました。社務所の番をしながらそこで占いをしてもいいよ、というふうになりました。場所も貸し出しています。そうして人が来るようになって、昔の十倍来るようになりました。

前田 龍生さん

4年前から、氏神様である神森白山社の氏子を担当されている。老朽化が進む神社の状況を改善したいと、自ら率先して神社のために現在も活動されている。普段は探偵事務所を運営されている。

美しい神社を保つために

「美しい神社を保つためにやっていることは何ですか?」

元々は幽霊神社のようなところで、木も生い茂っているところでした。提灯を七つ奉納することから始めて、木を毎年剪定するように。綺麗になっていったかな。木の剪定は一人で行っていて、掃除も朝四時から、日が昇る前に行っています。誰かが綺麗にしないとやらないから。物を綺麗にするのは楽しいからね。国旗も二メートル縮めました。木で見えなくなっちゃうからね。のほりもないとカッコ悪いからということ。二本大きいのを物置から引っ張り出してきました。小さいのは自分で買いました。表にあると風でひらひらしていいよね。綺麗にするためにやったことは、数えたらキリがありませんね。

All about Mr. Kenny's: A Story of Music and Passion

かなやまじんくらぶ 編集メンバー：尾関和裕、巽周太、的場仁利、渡部将之（50音順） 訪問日：2025年8月31日

Mr. Kenny'sの誕生 そして変遷

●お店の歴史について教えてください。
一番最初はマスターがサラリーマンをや
りながら豊明で始めました。東新町でも
ちょっとやった後、金山に移ってきてか
らは私も一緒に。再来年で25周年です。
ここは最初は今の半分ほどの広さで20
人ぐらいでいっぱいだったんです。でも、
ビッグバンドをやるのがマスター

の夢だった。そうしたら、震災の頃に隣
の美容院がなくなって。大変な時でした
から皆に反対されたんですけど、マス
ターは「いや！ 広げる！」って。

●すごいパワーですね！

今までは3月にビッグバンドフェスティ
バルをやっていたんですけど、最近は9月
にもやっています。とてもいいので、ぜひ
観に来てください。あと、11月29日は、
いい肉の日でローストビーフ食べ放題。
私の誕生日なのに焼きっぱなし！

ジャズクラブの魅力

生演奏の熱気、ミュージシャンとの距離
の近さ、そしてグラスを傾ける心地よい
音。ジャズクラブは、日常から離れ、五
感で音楽に浸れることが最大の魅力。

Mr. Kenny'sでは、フードメニューも
評判。音楽と共にディナーを楽
しむ、ちょっと贅沢な夜を過ご
してみるのも良いかも
しれません。



ライブとともに
楽しむ、
評判のフード
メニュー

金山。圏内のどこに転動になっても通勤しやすいよう引っ越してきた。住んではいるけれど、あまり知らない。もっと金山のことを知りたい。そんな時、金山のまちを巡って手づくり新聞を作ろうというチラシを発見した。しかも、取材先はごく近所のMr. Kenny's。日々どんな思いでこのまちで営業しているのだろうと考えつつ、待ち合わせの金山駅北のデニーズからケニーズへと取材に向かった。

金山と人々を愛し音楽を繋いでくれた、
Mr. Kenny'sの創業者・倉谷明さん



Mr. Kenny'sの魂 コロナ禍での営業と挑戦

普段は50〜60人が集まる「Mr. Kenny's」
だが2020年1月から発出したコロナ禍で
客数は10人程度にまで激減し、経営的に
非常に厳しい時期が続いた。

しかしオーナーの倉谷さんは「私に
とって店は生き物、ピアノも生きてるん
ですよ」という強い思いから赤字を覚悟
の上で店を開け続けた。

当時名古屋で営業を続けていたライブ
ハウスがほとんどなかったため、演奏の
場を失ったミュージシャンから非常に感
謝され、酒類の提供が禁止されていても
音楽を聴きに来る常連客に支えられた。

コロナ後も客足は100%は戻っていないが一方で、最近1〜2年で新しい客層
やインバウンドの客も少しずつ増えている。演奏者も16歳の高校生ドラマーや20
代のサックス演奏者など、この店で上の
世代の演奏を見て育った若い才能も多く

“ジャズクラブ”という単語ほど敷居の高いものはない。それなりの作法やルールを求められる気がしてしまう。しかしお店でオーナーからお話を伺うと考えすぎだとすぐに分かった。弾けなくても聴けばいいし、聴いて分からなければ食事を楽しめばいい。アプローチの方法がいろいろあるのも何ともジャズらしさを感じた。

ひとと音楽が 交わる場所

クールな大人が集う ジャムセッションに潜入

出演者の方に恐る恐る「即興」について質問してみた。「理論もあるんだけど、簡単に言うとジャズはよく演奏される曲が決まっています……その後でフリーで演奏するんだよ。君もスタンダードから好きな曲を見つけたらいいよ」と気さくに教えていただいた。



金山でジャズ フェスティバルを

Mr. Kenny'sの創業者・倉谷明さんの野望の一つは「Mr. Kenny'sでビッグバンドのライブをやる」ことだった。それはお店の長い歴史の中で実現することになった。そして、もう一つの夢は「金山でジャズフェスを開く」ことだった。

金山は意外に音楽が身近な街だ。駅北の市民会館は名フィルの本拠地で定期

公演を行うし、南口では流しの演奏家が
好き勝手に演奏する。かつては電光掲
示板あたりから Graham Central Station
の“Pow”がかすかに流れていた。交通
の要所とされるこの街は、実は音楽にま
みれているのだ。

金山とジャズフェス。奇抜に思えて、
私は成功する気がしてならない。予算や
場所の確保、アーティストの調整など、
考えるべきことは多いが、その土壌はす
でに整っているのではないだろうか。



JAZZ CLUB
Mr. Kenny's

〒460-0055 愛知県名古屋市
中区金山5-1-5 満ビル2F 052-881-1555
<https://www.mrkennys.com/>



Member

Vuha TAKASU

まどろす

Sara Imahubo

金森あかね

早川美香

Nigiwai Times

にぎわいタイムス

Kanayama Zine Club MARCHÉ TEAM

金山駅南口広場で毎月開催される「にぎわいマルシェ」。通勤客、学生、競馬ファンなど、多様な人々が行き交うこの場所で、どのようにして「にぎわい」が生まれているのでしょうか。今回は、マルシェを運営する河合さんに、イベントを始めたきっかけから、金山ならではの魅力、そして未来への展望まで、その「ごちゃまぜ」な賑わいの秘密に迫りました。

奇跡の バトンタッチ

再出
発
たった4店舗からの

インタビュー(以下「イ」): まず、にぎわいマルシェを始めたきっかけを教えてください。

河合さん(以下「河」): 実は、もともと別の人が始めたんです。私は以前、金山商店街で街コンなどのイベントを企画していた、その繋がりで

マルシェを運営していた方と知り合いました。その方が続けられなくなったので、私が引き継ぐことになったんです。

イ: 河合さんが引き継がれた頃は、どのような状況だったのでしょうか?

河: マルシェを引き継いだ際、規模は徐々に縮小しており、出店者も4店舗にまで減っていました。その後、神田さんと協力して少しずつ出店者を増やしていったことで、現在の賑わいを創り出すことができました。

イ: それは大変でしたね。なぜ減ってしまったんですか?

河: 元の運営者が東京の方で、管理が行き届かなくなってしまったことが原因です。出店者さんもその方との関係で出店していた方が多かったため、「その人が来ないなら」と離れていってしまいました。そこから、また盛り返しているところなんです!

8月の金山にぎわいマルシェに、運営ボランティアとして潜入してきました!



焼きそばやビール、かき氷、冷やしきゅうりといったお祭りの定番から、髪飾りや蝶のアクセサリ、編みぐるみ、北欧雑貨風のおしゃれなアイテム、八百屋さんやボエム、



占いと紅茶!? 唯一無二の「ごちゃまぜ」空間

イ: どのようにして出店者を増やされたのですか?

河: 営業というよりは、他のマルシェに足を運んで出店者さんに直接声をかけたり、「金山に来ませんか?」と誘ったりしました。ピアガーデンなど新しい企画も次々と試して、少しずつ規模を広げていったんです。

イ: 占いや、紅茶ショップなどのユニークなお店が多いと聞きました。

河: そうなんです。金山は本当に占いが多く、これは独特だと思います。金山は通勤・通学、勤め人、学生、そして競馬場もあるので、本当に色々な人が行き交う場所です。悩みを抱えている人も多いため、占いの需要が非常に高いんですよ。

イ: 同じお店が複数出ていることもありますか?

河: はい。同じ方が複数の店舗に入っていたりします。月に一度の開催なので、毎月来てくださる常連さんもあり、マルシェを楽しみながら占いをされる方が多いです。金山では特にコンセプトを設けず、「来たい人は誰でも来てね」というごちゃまぜなスタンスでやっています。

イ: 週によっては、テーマを設ける時もあるのですか?

河: そうですね。7月は自衛隊と一緒にコラボイベントを企画しました。ピアガーデンをやっている時に、自衛隊の隊員さんや、偉い人がたまたま飲みに来ていて、話していたら「一緒に企画をやりましょう」となったんです。こんな感じで、お客さんやマルシェにきた人と話して、自然と新しいアイデアが生まれて、企画が始まることは結構ありますね。



「金山で遊ぼう」 未来を創る 仲間たちへ

イ: 運営されていて、苦労することや難しいことはありますか?

河: 今はあまりこういうこともないのですが、昔は酔っ払いがステージの前で寝たり暴れたりすることもありました。今は人が多からそういうこともなくなってきました。あとは、マンネリにならないように、出店者さんと協力したり、美術館の企画に合わせてイベントをしたりもします。例えば、バンクシーの展示があった時は、ストリートアートをテーマにした企画をやったり、自衛隊のイベント時には自衛隊のご飯を作ったりしました。

イ: ただイベントを運営するだけでなく、出店者さんや地域の出来事と一体になって楽しんでいるの

が伝わってきますね。
河: みんなで何かを創り上げるような感じですね。イベント T シャツも僕たちだけでなく、出店者さんにも買ってもらい、一緒に着ています。ちょっと恥ずかしいですけど(笑)、それがお互いの絆を深めるきっかけになるんです。出店者さんからも「一緒に盛り上げましょう」というノリで、トークイベントやイルミネーションの企画が持ち上がったりします。

イ: 今後、企画を運営するメンバーを増やしていく予定なのですか?
河: そうですね。今は南口広場だけです。もっと街全体でやれるといいなと思っています。金山はイベントで関わり始めてもう15年くらいいるので、もっと街ぐるみでやりたいですね。

イ: どんな人が集まってほしいですか?
河: 一緒に楽しんでくれる人ですね。新しいアイデアを出してくれたり、「これやりたいです」と言ってくれる人がいいです。言われたことをやる人ではない方がいいかもしれません。



金山を 「楽しい場所」に

イ: 最後に、これからイベントに来場される方や、今後メンバーとして加わりたいと考えている読者の方に向けて、メッセージをお願いします。

河: 「金山で遊ぼう」という気持ちで、気軽に遊びに来てほしいですね。出店者さんにも楽しんでほしいですし、金山にお店を構えている方々も、マルシェを通じて新しい魅力を発信してもらっていい。金山を「楽しい場所」にすることが、私たちの目標です。

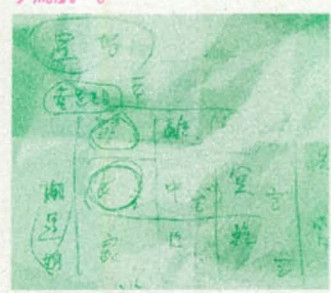
にぎわいマルシェ潜入レポート

金森あかね

紅茶屋さんは紅茶愛がすごく、なんと大学選びまで紅茶が理由だったそう。その熱量に圧倒されました。しかも編みぐるみのお店で買ったカチューシャを身につけていて、お店同士でコラボまで! 蝶々アクセサリのお店は4年ほど出店しているベテランで、新しい出店者への広告アドバイスや他のマルシェ情報まで教えてくれました。

ステージでは、アイドルやシンガーソングライター、華やかなジェンダーフリーのパフォーマーなど、多彩なパフォーマンスが次々に登場。お客さんも個性豊かで、性別関係なく熱心に応援する人や、全身キティちゃんのおじさん、「今来たよ、遅れてごめん。でももう行くわ」と運営に謎の報告をする人までいて、とにかくユニークでした。

占いが多くのも金山の特徴と聞き、占いの吉田さんに見てもらいました。すると、全く知らなかった親の水子の存在を言い当てられ、思わず鳥肌…。



さまざまな人が交差する総合駅・金山らしい多様さにあふれた、「にぎわい」そのもののイベントでした!

MUSIC SHOP



金山駅
南口すぐ



キャンペーン情報はこちら

現在のイベント!

毎月4、5回は歌手の方のサイン会
キャンペーンを開催しています。
場所は金山駅南口のジョイサウンド金山
2Fパーティールームです。
詳しくはホームページやX (旧Twitter)
でも情報を発信しています。
最近人気の若手男性歌手や 噂の着物美人
など、今後も色々な予定が入っていますの
で楽しみにしてください♪



DJみよちゃんの昔話

名鉄金山橋駅の坂にあった店では一日に
何十万もの人が通るので、スピーカーを外に
向けて曲を流し、原田悠里さんの「木曽路の女」や
「燃えよ!ドラゴンズ」など沢山売りました。
その後、平成元年に金山総合駅2Fに移転し、
2Fロータリーで歌手のキャンペーンをやり
本当に沢山の歌手の方に歌って頂きました。
皆さまベテラン歌手になられました。
氷川きよしくんも歌ったのですよ

平成元年に総合駅に移転するまで、
ずっと坂の上で営業していました。

お店をはじめたきっかけは?

当店は明治41年に創業し、今年で117年目
になります。私が4代目を少しだけ務め、今
は娘が5代目です。レコード店としては、全
国的に見ても非常に古い方だと思います。
名古屋ではもちろん一番古いです。
創業当時はミシン屋と蓄音機の販売が主
で、レコードも少し扱っていたようです。
最初の店舗は現在の御園座の真ん前にあり
ましたが、戦争で焼夷弾が落ちて焼失して
しまいました。現在の豊田ビルの場所に移
ったあと、昭和27、28年頃に金山橋駅の坂の
ところへ移ってきました。



左: 好美さん(5代目)、右: 美代子さん(4代目)

Good Day

印象的なエピソードはありますか?

事件はたくさんありました。坂の上の店にいた時、強盗に入られたことが
あります。男の人がレジからわしづかみでお金を持っていったのですが、
その時たまたま店内にいたお客様が、警察の音楽隊の方だったのです。
——その警察の方が取り押さえてくれたのですか。
いえ、犯人には逃げられてしまいました。後でその方が「すみません、
すみません」と、ものすごく謝ってくださいました。

音楽が好きでなければ
これまでも変わらずオールマイティに、
様々な年代の方に来ていただきたいです。



Twitter(X)はこちら



これからも、普段着のまちで
あり続けてほしいです。

昔は、商店街の人がつっかけにエプロン姿で
買い物に来たり、男性がステテコ姿で
歩いているような、下町の雰囲気が残っていました。
今は街の雰囲気も随分変わりましたが、それでもまだどこか下町の気安さがある、
普段着で、気取らずにいられる楽な街です。



ホームページはこちら

制作: サトウ, Mr.アラジャル, マイコ

途中、
4-4のみんな
がズッズッ
自分は何も
できないことへの
無力感で自分は
このチームに
必要なのか？
と考えた

半田さんが
親見になって
相談に乗って
くれたり、声を
掛けてくださった
からこそ
素敵なものが
出来上がった

早川さんと
金森さんの
イラスト
が

素敵すぎる！

Zoomミーティングの
時に表紙チームに
参加している人の能力に
圧倒されて、半田さんの
声に勇気が出せなかった
ことへの後悔

表紙チーム参加

マルシェチームの
みんなが
それぞれの力を
発揮したから
こそ、できた
新聞

表紙チームで
一緒にあった早川さんと
金森さんにすごく
助けてもらったからこそ
素敵な表紙が
できました。

表紙チームの
全体のデザインの
担当になって、
リソで刷った原稿を
見て、
表紙担当に
なれたことを
嬉しく思った。

何事にも
関係するの
ですが、
CLNの佐藤さん
谷口さん、半田さん、
マルシェチームの
たかすさん、いまくぼさん
早川さん、金森さん、
他4-4のみんなが
いたからこそできた

この御縁にすごく感謝
しています。
最初ワクワクが失いかけた
時はおりましたが、後半
みんなと話して二
作って
実際のものが
形になって
めっちゃ楽しかった!!

金山ピロティ住宅

かなやま
じんくらぶ

金山にぎわいマルシェチームの金森あかねです！

初日は風邪をひいており声が全く出ず失礼しました。豊橋の和菓子屋で和菓子を作っていましたが、最近退職し、転職活動中です！街づくりに興味があつてその方面で探しているので、良い情報がありましたら是非教えてください。

金山にぎわいマルシェのボランティアに潜入調査に行ってきました。お客さんとして行くだけではわからない雰囲気の移り変わりをたっぷり体験しました。

金山という街は多種多様な（子供からオカマまで）人が集まる場所で、それを受け入れるためにいい意味でゆるく運営し、それを支える出店者の方たちがとても楽しい空間を作っていました。（出店者の方が他の出店者のためにアイスを配ったり、運営のテントを出店者が建てにきてくれたりなど）

にぎわい！という言葉が本当にピッタリで、おしゃれなマルシェではないけど、だれでも受け入れる器の大きいこと！

個人的にははずのんというゆる系アーティストのファンになりました。なんだこの歌と思って聞いていたら、2日目に聞いた時にはもう頭から離れない、中毒性のある歌でめっちゃ好きになってしまいました笑



金山の知らなかった一面を知ることができました！私の役に立たないと思ったスキルも役に立つことがあると教えていただき、自信にもつながりました。ありがとうございました！

金森あかね

建築が好きで、金山と言ったらなんと言っても金山ピロティ住宅でしょ！この軽やかな足はいつ見ても痺れます！金山駅からすぐなのでみなさん是非一度見に行ってみてください！



ありがとうございました

参加された皆様

クリエイティブリンクナゴヤの皆様



矢豆かいし舌重かでしたが、とても楽しかったです。

皆さん様々な興味を持って、スキルを磨かれていて
良い刺激をいただきました。ZINEという形に

残るものも協力して作り上げる事が出来て

達成感もありました。残念ながらお話しする

機会がない方もいらっしゃいましたが、

またどこかでお会い出来るといいですね！

Nigiwai marche



早川 美香

2025.9.18



見出しの中の小さな仕事 的場仁利

私たちデザイナーは、見出しにゴシック体を使うことがよくあります。力強く、目立って、読者の視線を瞬時に捉えることができます。ゴシック体の見出しは、音楽でいうと力強いビートを刻むドラムのような気がします。

しかし、そのゴシック体の見出し中に、句読点や約物(「」、「」)「!」「?」などが来たとき、妙な存在感を放っていると感じたことはありませんか？

駅から、まちへ！ 駅から、まちへ！

① ゴシック体のみの見出し。読点と感嘆符が少し強い

② 地の文にはゴシック体、読点と感嘆符には明朝体を使用。こざっぱりした印象に

多くの場合、見出しのゴシック体と同じ書体の句読点を使いますが、ゴシック体の句読点は、文字と同じく線が均一で、ガッチリしていますよね。文字の力強さをそのまま引き継いでいるので、ときにその句読点が、文章全体のバランスを崩してしまうことがあるんです。

ここで、デザイナーがこっそり使うテクニックがあります。

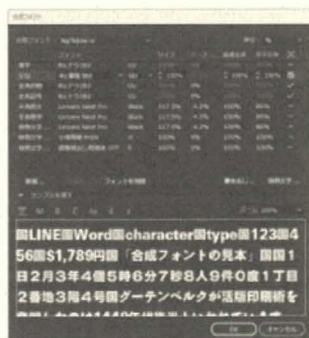
それは、見出しのゴシック体の中に、明朝体の句読点や約物を使うという手法です。

この明朝体の句読点を、ゴシック体の力強い見出しの隣に添えるとどうなるか。

それは、力強いドラムのビートに、メロディを添えるようなものです。見出しの勢いを邪魔することなく、文章に心地よい「呼吸」や「間」を生み出してくれる。それは、見た目の美しさだけでなく、読み手の心にスッと入るような、繊細なデザインの仕事なんです。

明朝体の句読点は、柔らかく美しい曲線を持っています。ゴシック体とは対照的な有機的な表情があるのです。

Adobe Illustrator や InDesign だと「合成フォント」という機能で、手軽にそのような工夫を施すことができます。InDesign なら「正規表現スタイル」でも実現できます。



Adobe Illustrator での
合成フォントのダイアログパネル

むかし組版オペレーターさんに「なんでゴシック体と明朝体を混ぜるんだ？ そんな面倒くさい指定をしないでください」と言われたことがあります。

私はこう答えました。「この句読点は、見出しの言葉を静かに見守る小さな相棒なんです」と。

見出しのゴシック体は、言葉を力強く伝えるための「声」です。そして、明朝体の句読点は、その「声」をより豊かにするための「息づかい」なんです。

Mr. Kenny's のzine でもそうしたことを考えて作っていますので、是非チェックしてみてください。



Touten Bookstore

金山の沢上商店街に Touten Bookstore という本のセレクトショップがあります。言葉と人々を繋ぐ、安らぎやアクセントのある場所を目指してそのようなネーミングにされたのかなと想像しています。

私たち本を作るデザイナーも、日々、言葉という素材と向き合いながら、見出しの隣にある小さな点に、大きな意味を込めて仕事をしています。

参考文献

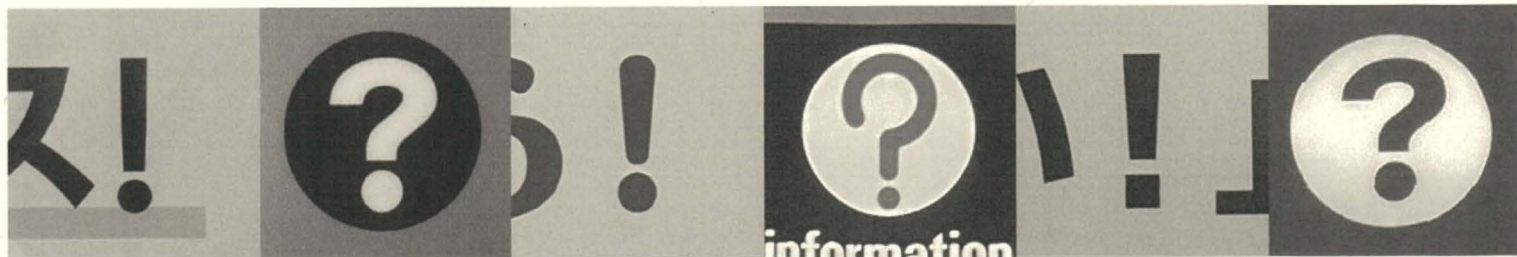
- ・大熊肇『文字の組み方—組版／見てわかる新常識』誠文堂新光社、2010年、p. 18, p. 22
- ・フォントダス「とっばいゴシック」(2025年9月11日アクセス)
<https://fontdasu.com/2093>
- ・森裕司「InDesign の勉強部屋／No.06 正規表現を使って合成フォントのような表現を目指す」(2025年9月11日アクセス)
<https://study-room.info/id/studyroom/other/other06.html>

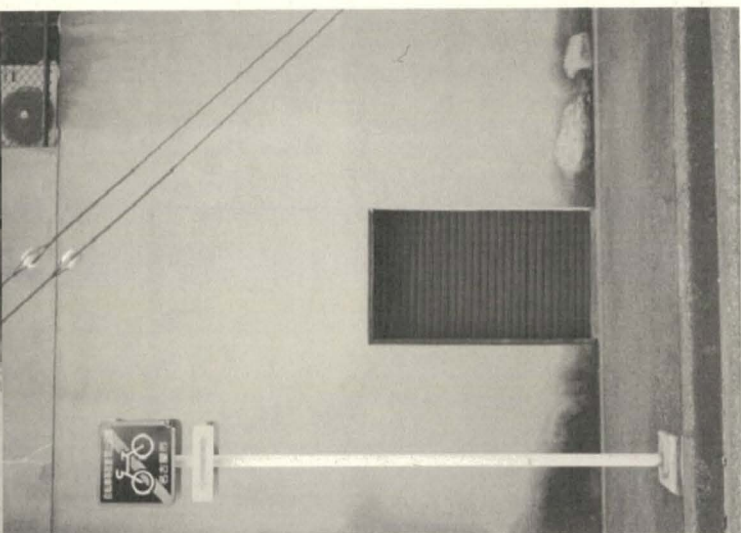
的場仁利 (マトバノリヨシ)

文字を大切に扱うデザイナー。文字や組版、印刷への深い関心から広告業界から印刷業界へ転身し、経験を積んだタイポグラファー。2005年、764人の言葉と丸明オールド、への寄稿を皮切りに、タイポグラフィーに因する執筆活動を開始。2007年から2009年まで『フォントスタイルブック』(ワークスコーポレーション)に携わる。2025年4月、マトンスタジオ設立。タイポグラフィーの発信を続ける一方で、アート&デザインとまちと人々をつなぐ活動を行う。JAGDA 正会員・中部ブロック (7期) 広報担当・愛知地区広報委員。CDA 正会員、金山駅前まちそで会個人会員、アトビ コミュニティエキスパート。



有機的で美しい疑問符





かつて金山駅南口のロータリーではラリー・グラハムのPowという曲が流れていたことをご存知でしょうか。知らない人が多いかもしれませんが、身近な人に聞いても誰も知らないもので、私が局地的かつ独創的な幻聴に苛まれていた可能性もある。だが、信号や友人の到着をぼっと待つたびに「今日も聞こえる…」と思っていた記憶が確かにあるのだ。

そもそも金山でぼっとする人は少ないのかもしれない。誰も彼もが目的地を明確にして歩いている印象がある。それは通勤電車の乗り換えであったり、艶やかなラブホテルへの冒険であったりするのだが、そんな時に街の細部まで目を向けたり耳を傾ける余裕などないのだ。

というわけで私が金山の街を歩いて写真を撮っておきました。昨年、自作したZINEの縮小版です。真ん中を切って折ったのであがり!!



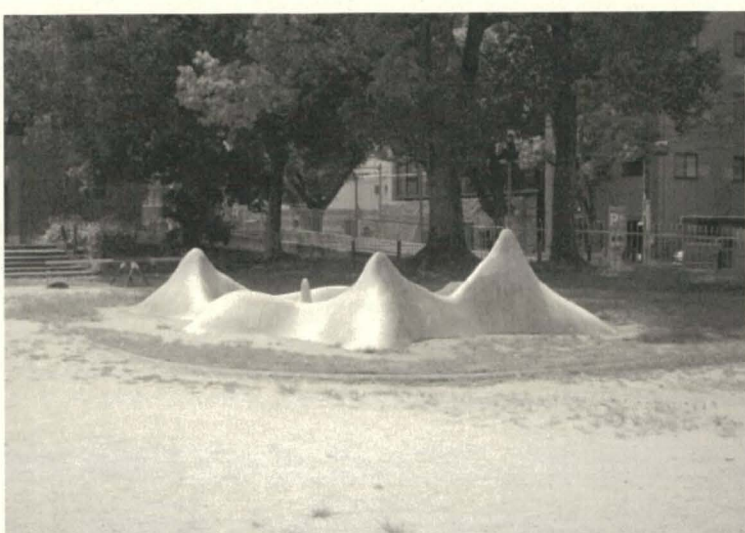
数年前まで金山には友人が住んでいた。なんの変哲もない道が、実は商店街なのだと教えてくれたのも彼であった。その商店街とはもちろん沢上商店街である。

沢上商店街には果物屋があった。本当に果物屋だったのかは分からないが、旬のものが並んでいたりのなかったりした覚えがある。いつもお店の前を通り過ぎる度に、現役の商店主なのか悩んでいた。

それでも一度だけ、意を決してミカンを買った。主人はそのミカンがどれほど美味しいのか力説し更には美味しいミカンの見分け方まで説明してくれたが、家に帰って食べたミカンは味も風味もない、水が詰まった袋のようなものだった。

あのミカンの味の無さは、ゴビ砂漠で丹精込めて作られたスイカに通ずるものがあった。

あのミカンも砂漠で作られたのだろうか。



ミニ ZINE の作り方

—— きりとり ——
 —— ● —— やまおり —— ● ——
 たにおり

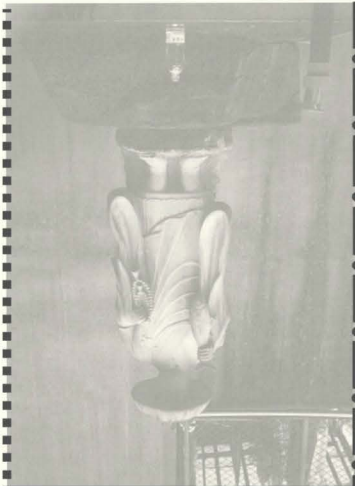
数年前まで金山には友人が住んでいた。なんの要
 路もない道が、実は商店街なのだと思えてくれた
 店街である。

浜上商店街には果物屋があった。本当に果物屋だ
 ったのかは分からないが、旬のものが並んでいた
 を通り過ぎる度に、現役の商店なのか悩んでいた。

主人はそのミカンがどれほど美味しいのか力説し
 更には美味しいミカンの見分け方まで説明してく
 れたが、家に帰って食べたミカンは味も風味もな
 い。水が詰まった袋のようなものだった。

あのミカンの味の無さは、コピ砂漠で丹精込めて
 作られたスイカに通ずるものがあった。

あのミカンも砂漠で作られたのだろうか。



かつて金山駅南口のロータリーではラリー・グラ
 ハムのPowという曲が流れていたことをご存知だ
 ろうか。知らない人が多いかもしれないし、身
 近な人に聞いても誰も知らないのでは、私が局地的
 かつ独創的な幻聴に苛まれていた可能性もある。
 だが、信号や友人の到着をぼーと待つたびに
 ●「今日聞こえる…」と思っていた記憶が確かに
 あるのだ。

●そもそも金山でぼーとする人は少ないのかもしれ
 ない。誰も彼もが目的地を明確にして歩いてい
 る印象がある。それは通勤電車の乗り換えであつ
 たり、艶やかなラブホテルへの冒険であつたりす
 るのだが、そんな時に街の細部まで目を向けたり
 耳を傾ける余裕などないのだ。

というわけで私が金山の街を歩いて写真を撮って
 おきました。昨年、自作したZINEの縮小版です。
 ●真ん中を切って折ったらできあがり!!

